

日本余暇学会年表

1996（平成8）年度

- 11月 定例研究会を開始（年度内に3回）
- 12月 ニュースレターの発行を開始（年度内2回）

1997（平成9）年度

- 9月13~14日 第1回研究大会（伊豆長岡町「ホテル富士見ハイツ」参加者46名）
 - 基調講演「余暇とボランティア活動」岡本包治（日本余暇学会00000会長）
 - パネルディスカッション「余暇と市民活動」
藺田碩哉／今家喜敬／瀬沼克彰／山本昌寛
- 研究発表9題、余暇施設見学ツアー（韮山町文化センター、沼津御用邸ほか）
- 3月『余暇学研究』第1号発行（論文8編、エッセイ・報告8編 104頁）
- 定例研究会5回
- ニュースレターの発行 6回

1998（平成10）年度

- 9月14~15日 第2回研究大会（オリンピック記念青少年総合センター・東京代々木）
 - パネルディスカッション「余暇空間としてのインターネット」
福田峰夫／藺田碩哉／大島真理子／長尾英男
 - 記念講演「小林一三の余暇思想、その余暇・娯楽事業をめぐって」
津金沢聡廣（関西学院大学教授）
- 研究発表 10題、フィールドワーク（新宿歌舞伎町：ゲームファンタジア）
- 3月『余暇学研究』（論文12編、講演記録、資料等3編、148頁）
- 定例会研究会4回
- ニュースレターの発行 6回

1999（平成11）年度

- 4月 大阪府立体育会館で定例研究会「21世紀の余暇展望」を開く
- 9月18~19日 第3回研究大会（大阪市立弁天町市民学習センター）
 - 記念講演：なにわの劇場寺院から新しい市民文化を発信する（秋田光彦・應典院住職）
 - シンポジウム：おおさかの「くいだおれ」—食文化を通じておおさかの余暇を探る
梶谷健二／中谷多可子／石井聖美／林屋染三／中藤保則
 - 鼎談「21世紀の余暇ビジョンを語る」 大倉秀介／瀬沼克彰／藺田碩哉
- 研究発表10題 見学会（大阪港・天保山）
- 定例研究会6回（大阪1回、他は東京開催）
 - 関西支部発足 研究プロジェクト活動（「江戸の余暇」「余暇診断シート作成」）
- 3月『余暇学研究』第3号発行（論文10編、エッセイ等3編、124頁）
- ニュースレターの発行 6回

2000（平成12）年度

- 岡本包治会長逝去 瀬沼克彰（桜美林大学教授）新会長に就任

9月16~17日 第4回研究大会(桜美林大学碩学会館)

基調講演: バリアフリーと観光 徳久球雄(北見大学教授)

パネルディスカッション: 心の時代の余暇 石川弘義/梶谷健二/浮田千枝子

研究発表8題

3月『余暇学研究』第4号発行(論文14編、講演記録・エッセイなど5編、150頁)

定例研究会 5回

ニュースレターの発行 6回

学会ホームページの開設

「余暇診断シート作成」プロジェクト

2001(平成13)年度

9月16~17日 第5回研究大会(スパリゾートハワイアンズ・福島県いわき市)

基調講演「常磐ハワイアンセンターからスパリゾートハワイアンズへ」

シンポジウム「余暇と温泉」 下島康史、中藤保則、倉田保緒、菌田碩哉

研究発表4題、各ゾーンの視察・体験、アクアエクササイズ

3月『余暇学研究』第5号発行(論文13編、エッセイ等4編、146頁)

定例研究会 5回

ニュースレターの発行 6回

2002(平成14)年度

4月 日本余暇学会監修『余暇の新世紀 ポストモダンのライフスタイル』を遊戯社から
刊行 B6版230頁 会員14名が執筆

8月24~25日 第6回研究大会(オリンピック記念青少年総合センター)

基調講演「余暇の新世紀—余暇学と豊かな社会創造」井上俊(甲南女子大学)

全体シンポジウム「余暇学が現代の諸問題に果たせる役割とは」

研究発表7題、交流会

3月『余暇学研究』第6号発行(論文9編、講演記録・エッセイなど5編、122頁)

定例研究会5回 読書会「アラン・コルバンの『レジャーの誕生』を読む会」9回

ニュースレターの発行 5回

2003(平成)15年度

4月 日本余暇学会監修、瀬沼克彰・菌田碩哉編『余暇事業論—多様化する余暇事業の未
来予測』を「くんぷる」から刊行 A6版256頁 会員など12名が執筆

9月13~14日 第7回研究大会(神奈川県大和市生涯学習センター)

* (財)大和市余暇活動推進公社と共催

基調講演「笑いのない人生なんて考えられない」井上宏(関西大学名誉教授)

シンポジウム「笑って!しゃべって!余暇人生」

井上宏/毒蝮三太夫/山崎洋子/小別所ひで子/菌田碩哉

研究発表6題、アトラクション(東海大学落語研究会)

3月『余暇学研究』第7号発行(論文9編、エッセイ、記録など5編、116頁)

定例研究会5回

ニュースレターの発行 6回

2004（平成16）年

- 9月11日 第8回研究大会（実践学園生涯学習センター・東京都日野市）
基調講演「まちづくりの課題としての景観」進士五十八（東京農大長）
シンポジウム「余暇と遊びのまちづくり」
進士五十八／強矢秀夫／田中祥子／藺田碩哉
研究発表11題 エクスカーション「新撰組の史跡を訪ねて」
3月 『余暇学研究』第8号発行（論文7編、講演記録・エッセイなど6編、100頁）
定例研究会5回
ニューズレターの発行 6回
12月 瀬沼克彰・藺田碩哉編・日本余暇学会監修『余暇学を学ぶ人のために』を世界思想社から刊行 B6版236頁 会員12名が執筆

2005（平成17）年

- 9月3~4日 第8回研究大会（クラブツーリズム株式会社・東京新宿）
講演「クラブツーリズムのミッションについて」岡本邦夫
ビデオフォーラム「クラブ活動の実際」浅川恵司
基調講演「コーヒーハウスからクラブへ」小林章夫（上智大学教授）
パネルディスカッション「余暇拡大時代の日本的『クラブライフ』を考える」
小林章夫／浅川恵司／佐藤洋詩恵／中藤保則／辰巳厚子／藺田碩哉
研究発表12題、特別発表「ケンカ堂と秋成」加藤祐一
視察会（国会、明治神宮神楽殿）
3月 『余暇学研究』第9号発行（論文7編、研究ノート・エッセイ等8編、106頁）
定例研究会1回、読書会「立体的に大正期を読む」5回
ニューズレターの発行 4回

2006（平成18）年度

- 8月26~27日 第10回研究大会
（福岡市博多八重洲ビル／福岡ビューティーアート専門学校）
日本余暇学会10周年記念論文「私の余暇実践記」表彰式
記念講演「余暇学10年の足跡と未来展望」瀬沼克彰（桜美林大学教授）発行
シンポジウム「余暇学の到達点」藺田碩哉／中藤保則／荒井魏／福田峰夫
テーマ別ラウンドテーブル
（原理・原論／政策論・プログラム論／歴史研究・研究方法）
研究発表6題 余暇ライフ市民講座（松浪稔）
エクスカーション（九州国立博物館）
定例研究会2回 地方研究会1回（信州短大・長野県佐久市）
ニューズレターの発行 4回

2007（平成19）年度

- 4月 会長が藺田碩哉（実践女子短大教授）に交代
5月 『余暇学研究』第10号発行
（特集論文4編、一般論文7編、研究ノート・エッセイ3編、研究報告2編、

特別企画「私の余暇実践」、158 頁)

- 9月 8~9日 第11回研究大会(上智大学・東京四谷)
基調講演「将軍たちの余暇」山本博文(東京大学史料編纂所教授)
シンポジウム「江戸庶民の生活観と余暇・遊び」
青木宏一郎/金森敦子/中藤保則/荒井魏/菌田碩哉
研究発表 8題 江戸の余暇学特別発表 3題
バスツアー「東京イブニングガイド」、懇親会「江戸余暇の夕べ」
1月「日本学術会議協力学術研究団体」の指定を受ける
3月『余暇学研究』第11号発行
(論文9編、研究ノート・エッセイ3編、特集等4編。158 頁)
定例研究会1回、地域ブロック研究会3回(長野、大阪、福岡)
ニュースレターの発行 4回

2008(平成20)年度

- 10月 4~5日 第12回研究大会(尚絅学院大学・宮城県名取市、仙台市戦災復興記念館)
シンポジウム「若の藻文化と余暇—メディアはどのように「若者」をつくるか」
姜永培/宮入恭平/山本存/杉座秀親
記念講演「カルチュラル・スタディーズとは何か」本橋哲也(東京経済大教授)
研究発表 8題 立体討論会
3月『余暇学研究』第12号発行
(論文5編、研究ノート1編、報告ほか4編 96 頁)
定例研究会1階、テーマ別研究会「ワーク・ライフ・バランス」2回
地域ブロック研究会 4回(宮城、東京、大阪、福岡)
ニュースレターの発行 4回

2009(平成21)年度

- 9月 26日 第13回研究大会 テーマ:余暇と観光 (東洋大学・東京都文京区)
(観光・余暇関係諸学会共同大会)
基調講演「『着地型観光』による観光まちづくり」
大社充(NPO法人グローバルキャンパス理事長)
研究発表 7題 共同懇親会
共同シンポジウム「観光・余暇研究の現在・未来」
松園俊志/菌田碩哉/安島博幸/香川真/山上徹/井上博文
9月 『観光・余暇関係諸学会共同大会学術論文集』を刊行
1月 劉震龍(韓国・乙支大大学校)教授と日韓余暇事情の情報交換
3月 『余暇学研究』第13号発行
(論文5編、研究ノート2編、報告等3編 99 頁)
研究会:余暇学再編プロジェクト 10回
ニュースレターの発行 4回

2010(平成22)年度

- 6月 19日 ツーリズム学会春季研究発表会に参加

- 8月29日～9月2日 世界レジャー会議（韓国・春川）に参加
韓国余暇学会との研究交流
- 9月25日 第2回観光・余暇関係諸学会共同大会に参加 研究発表2題
- 9月 余暇学再編プロジェクト『レジャー・スタディーズ—余暇研究の転回』刊行
（論文6編）
- 10月 16□17日 第14回研究大会（信州短大・長野県佐久市） テーマ:余暇と地方文化
（ツーリズム学会と共催）
- 記念講演「セーラの地域おこし」セーラ・マリ・カミングス（榎栞一市村酒造場代表
取締役）
- パネルディスカッション「地域文化の力」
セーラ・マリ・カミングス／下島康史／佐々木雅紀
- 研究発表 12題 エクスカーション（佐久平周辺）
- 3月 『観光・余暇関係諸学会共同大会学術論文集』発行
『余暇学研究』第14号発行
（論文4編、特集:余暇研究の可能性—アジアへの発信、アジアからの発信、3編、
報告ほか2編、85頁）
- 研究会2回 ニュースレターの発行4回

2011（平成23）年度

- 7月2日 第3回観光・余暇関係諸学会共同大会に参画
- 10月9日 第15回研究大会 テーマ:余暇と新しい公共（実践女子短大・東京都日野
市）
- 基調講演「3・11以後の日本人のライフスタイルとスポーツ文化の行方」
稲垣正浩（21世紀スポーツ文化研究所）
- 全体討論会（ワールド・カフェ）「新しい公共に向けて余暇は何ができるか」
- 研究発表12題
- 総会で「ツーリズム学会」との連携あるいは統合に向けて競技開始を承認。以降統合
会議を5回開催
- 3月 『余暇学研究』第15号発行
（論文1編、研究ノート1編、報告等5編、69頁）
- 研究会「レジャー・スタディーズ2011」4回
- ニュースレターの発行4回

2012（平成24）年度

- 6月30日 日本余暇学会とツーリズム学会の統合大会の開催 東洋大学（東京都文京区）
大会統一テーマ:「リバイバル レジャー&ツーリズム」
- 内容:総会、シンポジウム、記念特別講演、研究発表、学生セッション、懇親会
- 総会で「余暇ツーリズム学会」への名称変更と「ツーリズム学会」からの新会員受け
入れを承認、新事業計画・予算案を決め、飯島好彦新会長以下の新理事会を選出。
- 3月 『余暇学研究』第16号を発行